

小 松 市 教 育 委 員 会 会 議 録							
会 議 名		令和3年第5回小松市教育委員会定例会					
開 会 月 日		令和3年4月13日（火）		場 所	教育長室		
会 議 時 間		(開会) 午後1時30分～(閉会) 午後2時30分					
休 憩 時 間		① (休憩) 午前・午後 時 分～(再開) 午前・午後 時 分 ② (休憩) 午前・午後 時 分～(再開) 午前・午後 時 分					
委員の出席		教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
		委員	吉原 慎吾	出席	委員	中惣 恭子	出席
		委員	勝木 克子	出席	出席委員 4名 欠席委員 0名		
出席説明者	教育次長 吉田 和広		出席	シニアマネージャー 中田 一宏		出席	
	未来の教育課長兼 教育研究センター所長 表 久美子		出席	図書館長兼南部図書館長 神田 和明		出席	
	教育庶務課長 東谷 勝美		出席	学校教育課長 岩脇 司		出席	
	事務局次長兼 青少年育成課長 山口 和博		出席	ひととものづくり科学館 副館長 宮島 浩典		出席	
	市立高校事務長 出口 真澄		出席				
書記	教育庶務課事務員 高 啓介		出席				
傍 聴 者		1 名					
会議に付した議題	【議案】						
	・議案第9号 小松市立学校管理規則の一部を改正する規則について (学校教育課)						
	【報告事項等】						
	・サイエンスアクションプランについて (未来の教育課)						
	・図書館行事について (図書館)						
	・令和4年度学校給食調理等業務委託について (学校教育課)						
	・こどもSDGs講座の開催について (青少年育成課)						
	・姉妹都市との青少年オンライン交流について (青少年育成課)						
	・ひととものづくり科学館3月報告について (ひととものづくり科学館)						
	・ひととものづくり科学館令和3年度事業計画について (ひととものづくり科学館)						
	・小松市立高校3か年大学等合格状況について (市立高校)						

教 育 委 員 会 報 告

令和3年4月13日

【議案】

件 名	議案第9号 小松市立学校管理規則の一部を改正する規則について
所管部課名	学校教育課
内 容	小松市立学校管理規則の休業日について、従前はインフルエンザ等の感染症による学級閉鎖等を想定したものであったが、新型コロナウイルスの感染が発生した場合の学校全体の休業といった対応を想定したものに改正する。
教育委員等の意見	【北村委員】 新型コロナウイルスのみではなく、災害等の発生時に柔軟に学校が休業日にできることは重要だと思う。ただし、他校との関連もあるし、休業の際は保護者への周知を徹底していただきたい。
	議案第9号 承認

【報告事項等】

件 名	サイエンスアクションプランについて
所管部課名	未来の教育課
内 容	理科大好き青少年の育成アクションプランを踏まえた、小松市教育大綱2020の方針8【科学教育】を実現するためサイエンスアクションプランを策定した。学校、サイエンスヒルズ、未来の教育課、教育研究センターの取組、役割をまとめている。
教育委員等の意見	【勝木委員】 科学に対して子どもたちが興味を持ってもらえるような取組がいろいろと考えられていることがわかり、よい内容だと思う。 【北村委員】 前回のアクションプランの成果指標を踏まえて策定したものか。また、今回のアクションプランに成果指標が無いのは何故か。成果指標を示してほしい。 また、前回のアクションプランでは協働という言葉がよく出てきていた。地域や企業などの協働という視点は重要だと思う。青少年のみではなく、市民が一体となってアクションプランを実現できるよう取り組んでほしい。
	【表未来の教育課長】 今回のアクションプランについては、現在の取組を紹介するとい

	う目的で作成している。成果指標については、後日報告する。
--	------------------------------

件 名	図書館行事について
所管部課名	図書館
内 容	芦城公園周辺施設連携事業として、5/1の藤見の会にみどり号を出展する予定。 コロナ禍ということで、家で旅行気分を味わえる本や、図書館記念日、読書週間にちなんだテーマ展示を行う。 また、小松商工会議所青年部より、本の寄贈があった。
教育委員等の意見	特になし

件 名	令和4年度学校給食調理等業務委託について
所管部課名	学校教育課
内 容	令和3年度末に委託契約期間満了となる学校に加え、木場小学校を新たに委託する予定。これにより、委託契約を締結している学校は27校となる。プロポーザル方式により9月に選定する。
教育委員等の意見	【北村委員】 委託していない学校については、何故委託していないのか。
回 答	【吉田教育次長】 委託していない学校は正規の調理員が行っている。調理員の退職等にあわせて委託している。

件 名	こどもSDGs講座の開催について
所管部課名	青少年育成課
内 容	小松っ子を育てる市民会議が主催となり、地域公民館と連携して当事業を進める。開催にあたっては、JICA北陸、イオンモール新小松、木場潟公園協会、コマツにご協力いただく。座学だけではなく、フィールドワークも行う予定。対象は5、6年生とその保護者としている。
教育委員等の意見	【中惣委員】 4回の講座ということだが、続きはないのか。 【北村委員】 学びには実践が重要であり。これはSDGsを学ぶ上でも非常に

	重要であると考えている。今後の展開や、実践を事業に取り入れることを考えているのか。
回 答	【山口青少年育成課長】 今回の講座は実践を主体としている。初めての試みということで、今回の講座で得た知見を来年度の講座等に活かしていきたい。 【石黒教育長】 教育委員会では、今年度SDG sを非常に重要なテーマとしている。学校教育においては、実践できる人間をつくるという点を重視し、未来のことを見通した教育に努めたい。

件 名	姉妹都市との青少年オンライン交流について
所管部課名	青少年育成課
内 容	ゲイツヘッド市、アンガルスク市、彰化市と交流事業を行う予定。新型コロナウイルスの影響から、今年度は新たな方式としてオンラインで交流を行うことを計画している。
教育委員等の意見	【北村委員】 オンライン交流について、何を題材にするのか。 【勝木委員】 オンライン交流は英語でコミュニケーションをとるのか。
	【山口青少年育成課長】 国際交流においては、相手のことを知ることも大事だが、自分のことを知ることも非常に重要。参加者には自国のことをいろいろ調べて相手に説明してもらう。テーマについては現在検討中。 英語力の強化もこの事業の目的の一つであり、英語で行う。ゲイツヘッド市については、英語が母国語ということもあり、英語力の高い中高生を想定している。

件 名	ひととものづくり科学館3月報告について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内 容	3月のイベントとして、石川県立大学、明治大学、東京大学大学院から講師を招いて講座を行った。
教育委員等の意見	特になし

件 名	ひととものづくり科学館令和3年度事業計画について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内 容	科学に出会うこと，科学を学ぶこと，科学に挑戦すること，この3つの観点を地域連携や事業を通して子供たちと一緒に育てていきたいと考えている。 プログラミング教育については今年度も力を入れて取り組み，中学校の利用も増やしていきたい。
教育委員等の意見	特になし

件 名	小松市立高校3か年大学等合格状況について
所管部課名	市立高校
内 容	卒業生187名のうち，168名が進学。7名が就職。12名が浪人等という結果となった。 新型コロナウイルス感染症の影響により，関東方面への進学者や，学費の高い私立理系の学校への進学者が減少するという傾向が見られた。
教育委員等の意見	【中惣委員】 新型コロナウイルスの影響で進学先が変わったということはわかったが，学力という点においてはこれまでとの差はなかったのか。 【北村委員】 報告について，現役生の結果を報告いただいているが，来年度からで構わないので浪人生も含めて報告してほしい。 芸術コースの進学先と，看護系を希望する生徒が多いと聞いているので，看護系の学校へ何名ほど進学しているのかあわせて後日報告してほしい。 入学者は200名前後だが，卒業生は187とのことだが，10名程度は途中で退学されたのかあわせて教えてほしい。
回 答	【出口事務長】 学年によって学力の差は若干あるが，休校中も生徒と連絡を取り合いオンライン授業も行っており，コロナで学力低下ということは無いと考えている。また，1年生から学習する習慣をつけていくことや，高大連携クラスによる上位層の学力向上にも取り組んでいる。

【その他】

件 名	次回教育委員会会議日程について
内 容	日時：令和3年5月19日（水）午後1時30分 場所：オンライン

【教育委員からの意見・提言】

吉原委員	子どもたちは手洗うがいマスクなど基本的な感染対策はしているが、密になるなというのはどうしても難しいと思う。大規模なクラスターが発生するおそれはあるし、休校等の措置をとらなければならない状況が発生した場合にどうするか、十分に考えておく必要があると思う。
中惣委員	昨年の同時期より、大人を含め子どもたちのコロナウイルスに対しての危機感が小さくなってきている。また、教員が観光目的で県外に出かけたという話を聞いたこともあり、子どもたちや家庭はもちろん先生方への注意喚起にも努めていただきたい。
勝木委員	こどもSDGs講座やひととものづくり科学館でいろいろな取組がなされているが、小学校高学年対象の事業が多いと感じている。小学校中学年や低学年も参加できる取組を考えていただきたい。
北村委員	昨年の計画訪問で学校に伺ったところ、普通に授業を受けているときは生徒間でスペースは保たれているが、床に座って授業を受ける機会があるときは密になって授業を受けている様子が複数の学校で見られた。密にならないよう指導をおこなってほしい。